

「余白」の創出と活用による特色あるカリキュラムの実現

【企画趣旨】

次期学習指導要領改訂に向けた議論が本格化している。本年9月5日に、中央教育審議会教育課程企画特別部会で示された「論点整理（素案）」では「教師と児童生徒の双方に『余白』を生み出し、豊かな教育活動に繋げる仕組み」として「調整授業時数制度の創設」ならびに「全ての都道府県・指定都市での知見の蓄積を図るため、令和8年度より更なる事例創出の加速を図る」ことが指摘されている。論点整理（素案）に示された「調整授業時数制度」の成否は、各学校における「時間」という資源に着目した「余白」の創出と活用による効果的なカリキュラム・マネジメントの展開とそれを可能とする教育行政による環境整備が鍵を握る。

そこで本セミナーでは、貞広氏には中央教育審議会教育課程企画特別部会でのこれまでの主に「余白」に関する議論や今後の方向性を、玉村氏には、「余白」の創出と活用に係る研究開発学校の多様な特色あるカリキュラム開発の取組を、山口氏には現行学習指導要領下における公立小中学校における「余白」の創出と特色あるカリキュラム開発の取組を、ご発表いただき、「余白」の創出および特色あるカリキュラム開発の多様性・可能性について熱心な協議を行いたい。

【主催】日本カリキュラム学会（担当：広報・若手育成委員会）

【日程】2025年11月29日（土）9:30～12:00（予定）

【形態】オンライン（Zoom）

【登壇者】（五十音順）

登壇者：貞広 斎子（千葉大学教育学部教授・中央教育審議会教育課程企画特別部会主査）

玉村 昌彦（目黒区教育委員会指導主事）

山口 博功（大阪市立長谷川小中学校校長）

【司会】

石田有記（日本体育大学）、村川雅弘（甲南女子大学）

【コーディネータ・記録】

石田有記（日本体育大学）、唐木清志（筑波大学）、村川雅弘（甲南女子大学）

【参加費、参加資格】

無料です。公開ですので、会員以外の参加も可能です。※ただし、録画・録音は禁止とします。

【参加申し込み】

Google Form を活用し、11月26日（水）までに、お申し込みください。

<https://forms.gle/9QkjuWnB57QPw4hk9>

【参加方法】

Zoom を使用します。事前申し込みにご協力ください。申し込みを行った方には、開催日の前日となる11月28日（金）に、Zoom の URL と、発表者の配布資料を送付します。

【問い合わせ先】

日本カリキュラム学会事務局（jscsstaff@gmail.com）

※「秋のセミナー」は、日本カリキュラム学会の社会貢献的行事として、すべての学校教育関係者及び教職を目指す大学生・大学院生、報道機関関係者、研究者等に公開しています。オンライン開催となっておりますので、多数のご参加をお待ち申し上げます。